

## 令和6年度の協働提案事業の実施について

令和5年度に採択した、令和6年度の協働提案事業の実施について、以下のとおり報告します。

### 1 協働提案制度について

行政のみの力で解決が困難な地域の課題に対して、区と地域活動団体（NPO法人や地域団体、事業者など）との協働により、解決に向けて取り組むことを目的とし、地域活動団体から提案された事業を区が採択した後に、区と地域活動団体がお互いの立場を尊重し、役割を分担しながら協働事業として取り組んでいく制度として運用。

### 2 事業採択までの経過

- 令和5年 協働提案の募集  
 4月～5月 ・7団体（7事業）が応募  
 6月～8月 団体と区担当課による事前協議  
 ・1事業の協働提案書が提出され受領  
 11月 協働提案の審査（杉並区協働推進本部協働提案審査部会）  
 ・団体及び担当課によるプレゼンテーションにより審査を行い、令和6年度の提案事業の採択候補として決定  
 令和6年 協働提案の採択（杉並区協働推進本部）  
 1月 ・令和6年度の事業として1事業を採択

### 3 令和6年度実施予定事業

項目	内容	
提案事業名	住民（移動制約者）参加によるユニバーサルデザインのまちづくり～実りある対話を行う～	
提案団体（担当課）	特定非営利活動法人グローイングピープルズウィル（都市企画担当課）	
事業実施期間	令和6年度・令和7年度の2年間	
事業目的	公共施設とそのアクセス経路について、移動制約者による検証を行うと共に、区と移動制約者の対話の場を増やし理解を深めることで、ユニバーサルデザインのまちづくりを推進する。	
主な取組	（1年目） ・移動制約者が多く利用する公共施設とそのアクセス経路の検証（荻窪駅周辺地区から選定） ・検証結果を踏まえた報告書及び携帯型触知案内図の作成	（2年目） ・移動制約者が多く利用する公共施設とそのアクセス経路の検証（富士見ヶ丘駅・高井戸駅周辺地区から選定） ・検証結果を踏まえた報告書及び携帯型触知案内図の作成
役割分担	事業者	事業全般のマネジメント、バリアフリー検証、関係者同士の話し合いの場の設定、報告書等の作成等
	区	公共施設の選定、関係機関との調整
概算経費（6年度）	1,610,000円（うち区負担額：890,000円）	

#### 4 今後のスケジュール(予定)

令和6年1月～3月	事業実施に向けた具体的な協議
4月～	協定の締結、協働提案事業の実施
令和7年8月	NPO等活動推進協議会による協働提案事業の中間評価
令和8年4月～	事業終了後の報告及びNPO等活動推進協議会による総評

#### 5 協働提案事業実施後の方向性

- ・ 検証結果を踏まえた報告書は、杉並区バリアフリー推進連絡会等を通じて施設を所管する部署と共有し、その後のバリアフリー化事業実施に生かす。
- ・ 協働提案事業終了後も、提案団体と事業担当課の協力関係を続け、提案団体が持つコネクションや知識を活用させてもらいながら、ユニバーサルデザインのまちづくりを推進していく。

